

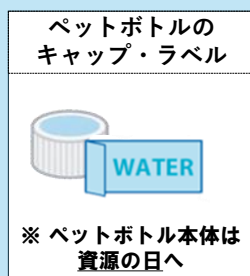
プラスチックの出し方

レジャーやイベントのあとは、ごみの分別も忘れずに。
プラスチックを正しく処理しましょう！



マークを目安に分別し、きれいなものを出してください。
※マークの表記が無くても、プラスチックとして出せるものもあります。

(例)



花火 の出し方

正しく出されないと、車両火災の原因になります



使用済み花火

必ず水にひたす



火種が消えていることを確認



水気を切る

※ 未使用の花火は発火の恐れがあるため、
ごみとして出せません

「可燃」
の日に



不要になったライター

必ず中身を使い切り



他のごみと混ぜずに



中の見える袋に
入れる

「不燃」
の日に



食品ロス削減のために

？食品ロスとは？

まだ食べられるのに捨てられてしまった食品のこと。

食べ物は作る、運ぶ、保管、調理の過程でエネルギーを消費し、CO₂を排出しています。
そのうえ、廃棄してしまうことで、さらなるCO₂を排出します。
食品ロス削減は地球温暖化防止につながる行動です。

国民1人当たりの食品ロス量は

1日 約103 g

約おにぎり1個分！



食品ロス削減のために大田区で行っている取組み

フードドライブ (次回開催予定:9月)

指定の区内施設にお持ちいただいた未利用食品を、区内のひとり親家庭のフードバンクや子ども食堂などへ寄付する取組み

対象:区民

地産地消型未利用食品 マッチング事業

区内の事業者から排出される未利用食品について、食品を必要としている区内の福祉団体等とマッチングし、有効活用を図る取組み

対象:区内事業者

大田区食べきり 応援団

大田区食べきり応援団に登録していただくことで、食品ロス削減啓発資材の配布や、PRの支援を行う取組み

対象:区内事業者

pick up

地産地消型未利用食品マッチング事業

大田区と包括連携しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社から、食料品等提供の申し出をいただき区内こども食堂への寄贈が実現しました。

食料品等配布の様子 ▶



日頃から行える取組みリスト

- ☐ 消費期限と賞味期限の違いを理解しよう
- ☐ 冷蔵庫の中を確認して買いすぎないようにしよう
- ☐ 「てまえどり」をしよう(※)
- ☐ 食べきれ的分だけ作ろう
- ☐ 食べ残しをなくそう
- ☐ 食べきれ的分だけ注文しよう

(※)購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品など、販売期限が近づいた商品を積極的に選ぶ行動

〈清掃だよりについてのご意見・お問合せ先〉

ごみ減量推進課 蒲田清掃事務所(調布地区)

03-5744-1628 03-6459-8201

大森清掃事務所 蒲田清掃事務所(蒲田地区)

03-3774-3811 03-6451-9535

清掃だよりは大田区ホームページでも閲覧可能です。過去1年間の清掃だよりと災害時の資源・ごみの出し方はこちら

